

# 天台スカウト・ニュース



No. 5

発行元：天台宗スカウト連合協議会 滋賀県大津市坂本4-6-2天台宗務庁内  
ホームページアドレス：<http://www.tendai-scout.jp>

発行日：平成 23 年 5 月 10 日



理事長  
寺本 亮洞

## 第8回天台キャンポリーの成功を祈って

「未曾有」と言う言葉は「東日本大震災」のためにあったのでしょうか？

3月11日午後2時26分、突然東京でも揺れ始めました。テレビを見て驚きました。まるでテレビや映画の世界を観ているようで、これが現実とはとても思えませんし、あまりの無残な光景に言葉もありませんでした。この大震災のために「仏教章」を取得するために予定していました3月26日からの居士林での仏教章第2教程講習会は中止となりました。そこで参加申込み者の救済方法として、本年7月に開催される第8回天台キャンポリーに参加して、取得のための行事に参加するか、教導職のもとで履修することに致しました。

「天台キャンポリー」は4年に1度行われます。今年は7月22日から24日までの日程で参加者は300名を予定しており、延暦寺会館を宿舎にして全ての行事を比叡山上で行うことになりました。天台宗に縁のあるスカウトが「比叡山」に集い、発心会に参加したり、回峯行の一部を実践したり、キャンプファイヤーの出し物を計画したりと、この日がくるのを楽しみに待ち望んでいます。スカウト運動を始めた、ベーデン・パウエル卿は著書のなかで、「宗教というものは、少年たちに与えることができるものであり、且つ、教えなければならないものである」と書いております。この活動は「そなえよつねに」をモットーに、「日々の善行」と「一日一善」の実践です。いまの世の中で、私たちに一番欠けているのは、その「心構え」と「実践のための努力」ではないかと思います。

また、パウエル卿はスカウトに「人のお世話をならぬよう、人のお世話をするように、そして報いを求めるように」とも言われております。最後の「報いを求めるように」こそ大変重要なことだと思います。

まさに天台宗をお開きになられた「伝教大師最澄」さまの言われた「己を忘れて他を利するは慈悲の極みなり」と、「一隅を照らす人になりなさい」と諭されたお言葉と同じように思えてなりません。「天台キャンポリー」は宗務当局さま及び延暦寺さまの応援をいただきながら成功させたいと思います。

## 第8回天台キャンポリーを比叡山上の延暦寺会館で開催！！ 期 日：平成23年7月22日(金)～24日(日) 会 場：延暦寺会館

天台宗スカウト連合協議会では「国宝的人材」づくりを目指された宗祖伝教大師のみ教えに基づき、青少年のスカウト活動が益々盛んになることを願い、平成23年7月22日（金）から24日（日）の3日間、天台宗の総本山である比叡山延暦寺を会場に第8回天台キャンポリーを開催致すこととなりました。

「天台キャンポリー」には全国の天台スカウト及び縁故宗派である孝道教団並びに浅草寺のスカウトが一堂に会しますので、宗祖伝教大師が開山・ご修行された比叡山の地で、団を超えての親睦を深めていただきたく存じます。また、比叡山の靈気を肌身で感じることにより信仰心が深められ、スカウトとしての意識が

全国の天台スカウト  
総本山比叡山延暦寺に集結

益々高まることも期待しております。  
前回から5年ぶりの開催ですので、立派に成長した皆さんと比叡山で再会できることを心よりお待ちしております。



# 第15回日本ジャンボリー特集

開催日：平成22年8月2日（月）～8日（日）

会場：静岡県富士宮市 朝霧高原

平成22年8月2日（月）から8日（日）の7日間、静岡県富士宮市朝霧高原で第15回日本ジャンボリーが開催されました。天台宗スカウト連合協議会では5日に会場内アリーナで宗教儀礼を実施。天台スカウト並びに縁故宗派のスカウト500余名が集まり、世界平和を祈念しました。また、3日から7日の期間、信仰奨励エリアで天台宗パビリオンを設置し、天台宗の教えや礼拝作法など指導しました。期間中には国や宗教を越えて約700名のスカウトが来館しました。



▲15 NJ の舞台となった朝霧高原(富士宮市)



▲献灯(加古川2団 渋谷拓樹くん)

▲献花(村岡1団 今田安佳音さん  
村岡1団 中井 雪花さん)

▲献香(加古川2団 木下剛志くん)



▲宗教儀礼に参集した天台スカウト



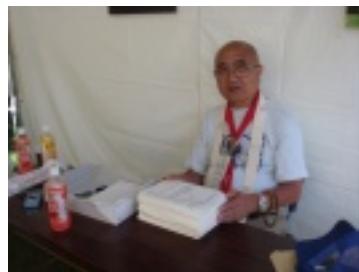
▲導師を勤めた村上圓竜社会部長



▲パビリオン内礼拝施設で作法指導



▲一筆写経に集中するスカウトたち



▲約700巻の一筆写経が集まる



▲延暦寺の写真パネルも展示された



▲弁慶パネル みんな揃って記念撮影

## 写真レポート②

### 天台宗パビリオン

期間：8月3日(火)～7日(土)

場所：信仰奨励エリア

来館：スカウト約700名

## 第11回 天台青年スカウトシンポジウム ~原点回帰~

平成22年9月18日(土)～20日(月)、滋賀県大津市比叡山高校セミナーハウスを主会場に「第11回天台青年スカウトシンポジウム」(実行委員長:天台1団 福井駿さん)が開催され、全国から12名の天台青年スカウトと6名の指導者、天台宗スカウト連合協議会より小鴨覚俊常任理事が参加しました。第11回シンポジウムのテーマは「原点回帰」であり、天台ユースの歴史をふまえ、原点に戻ってスカウト同士、楽しく、そして活発なプログラムが計画されました。



▲初めての体験に緊張する



▲多くのスカウトが滋賀に集まった

1日目は主に参加者の懇親を深めるプログラムを実施しました。また、天台宗や宗祖の教え、団を越えた天台スカウトの交流促進について熱心にディスカッションを重ねました。2日目は宗教儀礼を終えた後に、野外プログラムとして琵琶湖でウインドサーフィンを体験し、自然を満喫しました。夕刻には、延暦寺一山恵光院を会場にOBを交えた交流会を催しました。3日目は次回のシンポジウムについてディスカッションを実施し、「第12回天台青年スカウトシンポジウム」の実行委員長に天台17団の佐藤亜美さんが選ばれました。参加スカウトは再会を約束して帰路につきました。

## 平成22年度 天台青年スカウト 活動報告



▲震災の直後に開催されたシンポ。自分たちに何ができるか検討した



▲募金では多くの義援金が集まった

## 第12回 天台青年スカウトシンポジウム ~輪∞~

平成23年3月19日(土)～21日(月)、愛知県稻沢市及び一宮市において「第12回天台青年スカウトシンポジウム」(実行委員長:天台17団 佐藤亜美さん)が開催され、全国から4名の天台青年スカウトと天台宗スカウト連合協議会より小鴨覚俊常任理事が参加しました。また、真宗大谷派のスカウトが1名参加し、宗派を超えての交流がありました。

第12回シンポジウムのテーマは「輪∞」であり、当初はスポーツを通じて交流を深めるプログラムを計画していましたが、3月11日に発生した東日本大震災を受け、一時はシンポジウムの中止を検討しました。しかし、「スカウトとして自分たちにできることは何か」を考え、シンポジウムを開催することを決めました。

1日目は震災について意見を交わしました。2日目は祖父江善光寺で宗教儀礼を実施し、街頭での募金活動に向かいました。募金総額は278,128円となり、全額を日本赤十字社へ送金しました。また、夕刻に第13回シンポジウムについて意見を交わしました。3日目は震災に対する原隊での活動や、今後のシンポジウム参加者の増員などについてディスカッションを行いました。次回は無人島での野営を実施予定です。多くの参加をお待ちしております。

### 「たすけあって日本」～今こそ忘己利他の実践～ 東日本大震災被災地の早期復興を願って 天台1団(大津12団)が一隅を照らす運動総本部へ義援金を寄託

平成23年4月5日、天台1団(大津12団)が一隅を照らす運動総本部を訪れ、東日本大震災への義援金として107,046円を寄託しました。天台1団ベンチャー隊議長の飯田健人君(16)の「僕たちができることで、被災された方々を助けたい」という発案によるものでした。天台1団では、この発案を受け、団活動としてビーバー・カブ・ボーイ・ベンチャー・ローバー部門のスカウトたちが街頭に立ち、募金活動を行いました。計画から実施まで携わり、義援金を寄託した飯田君は「多くの方が募金をして下さいました。僕たちで集めた義援金が何かのお役に立てられる有幸です」と被災地への想いを強く述べました。



宗内へ広がるスカウト運動への関心

## 天台宗務庁でボーイスカウト講習会を開催

滋賀連盟 第282回

滋賀連盟 第283回



▲ロープワークに挑戦する参加者

平成22年11月7日(日)、平成23年2月13日(日)に滋賀連盟第282回、第283回ボーイスカウト講習会が天台宗務庁中会議室を会場に開催され、合わせて35名が講習生として参加し、スカウト運動について理解を深めました。

ボーイスカウト講習会は成人指導者がスカウト教育の原理と基本的な方法を、その活動を体験することにより、正しく理解することを主たる目的としています。講習会では講義や野外活動が実施され、参加者はスカウト体験することでスカウト運動に対する理解をさらに深めました。なお、第282回には叡山学院より学院生4名、天台宗務庁より職員1名が参加しました。近年、学院生の参加が定着してきており、宗内におけるスカウト運動への関心が広まっているように感じられます。

## お知らせ

## 『天台宗スカウトハンドブック』を改訂 -『年少スカウトハンドブック』も新たに作成 -

現行の『天台宗スカウトハンドブック』は主に仏教章第2教程の教材として活用されておりましたが、「字が小さい」、「文章が難しい」、「日々の活動に携帯できない」などのご意見をいただきしております。そこで「第8回天台キャンポリー」の開催にあわせ『天台宗スカウトハンドブック』を改訂することとなりました。主な改訂点はB7版へ縮小、文字サイズ拡大とルビふり、文章の平易化です。また、以前から要望がありました年少スカウト向けのハンドブックも新調することとなりました。年少向けの文章に加え、活動中の指導者に対するアドバイスも掲載予定です。いずれのハンドブックも「第8回天台キャンポリー」の記念品として参加スカウトにお渡し致します。現在、発行にむけて鋭意取り組んでおりますので、ご期待ください。



▲現行のハンドブック

## スカウト活動（教育）とは？

今から100年前にイギリスのベーデン・パウエル卿によって始められた「よき市民」を育てるための青少年教育活動のこと。今日、全世界156カ国2,500万人のスカウトがいます。その目的は、本来斥候術（スカウティング）であり、相手を偵察するには「知恵」「知識」「技術」「勇気」「観察」「協同」などが必要で、それらを大自然の中で学ばせますが、そのとき人間の力が及ばない世界があることを知り、宗教の存在意義を知ることになります。そこで、スカウト教育では、スカウトたちに「明確な信仰をもつ」ことがすすめられています。したがってスカウト運動は、多くの社会教育団体があるなかで「宗教（信仰）」をベースにした唯一の社会教育運動であるといえます。

## 平成22年度 天台宗スカウト連合協議会事業報告

## 平成22年

- 4月16日 定例理事会 於：天台宗務庁
- 5月10日 会報「天台スカウトニュース」No.4 発行
- 6月 9日 第15回日本ジャンボリー 実行委員会  
於：天台宗務庁
- 8月 2日 第15回日本ジャンボリー
- ～8日 於：静岡県富士宮市 朝霧高原
- 9月18日 第11回天台ユースシンポジウム
- ～20日 於：比叡山高校セミナーhaus 他
- 11月 7日 ボーイスカウト講習会滋賀連盟第282回  
於：天台宗務庁 参加者：23名
- 12月 9日 臨時理事会 於：天台宗務庁

## 平成23年

- 2月13日 ボーイスカウト講習会滋賀連盟第283回  
於：天台宗務庁 参加者：12名
- 3月19日 第12回天台ユースシンポジウム
- ～21日 於：稻沢勤労福祉会館 他
- 3月26日 第27期仏教章第2教程講習会
- ～28日 ※東日本大震災の影響により中止

## 第8回天台キャンポリー関係

- 11月 2日 第1回「スカウトハンドブック」作業部会
- 12月 9日 第2回「スカウトハンドブック」作業部会
- 2月 8日 第3回「スカウトハンドブック」作業部会
- 2月 8日 第1回実行委員会
- 3月 11日 第4回「スカウトハンドブック」作業部会

## 第28期 天台宗仏教章第2教程講習会開催のお知らせ

平成24年3月26日(月)～3月28日(水)

於：比叡山延暦寺西塔居士林

## 参加資格

1. 登録完了のボーイスカウト1級以上・ベンチャー・ローバースカウト  
ガールスカウトはレンジャー以上
  2. 次の4項のうち一つ以上をみたすもの
    - (1)天台宗の教えに篤い信仰の心をもつスカウト
    - (2)天台宗寺院が育成する団に所属するスカウト
    - (3)家の宗派が天台宗であるスカウト
    - (4)天台宗僧侶の指導を受けたスカウト
  3. 第1教程修了者（ガールもこれに準ずる）
- ※平成24年1月下旬に天台各団宛にご案内致します。